



能の世界
体で感じる

2005年 松江

能を知る集い

1月16日① 13:30~17:00

松江市生涯学習センター 交流ホール [STICビル5階]

参加費1,000円 / 定員130名

◆講師

槻宅 聡 [能楽森田流笛方 / 安来市出身]

安田 登 [能楽下掛宝生流ワキ方]

参加申し込み方法等、詳しくは裏面をご覧ください。

能楽は、日本の代表的な古典芸能であり、世界的にも高く評価されている舞台芸術です。しかし「古典」であるがゆえに敬遠され、その本当の面白さが知られずにいるとしたらとても残念なことです。この集いでは「声・音」と「身体」という角度から、みなさんとごいっしょに能の面白さを体験してみたいと思います。

◆内容(予定)

能の音と声 — 「ノイズ」の重要性

自然な声／警蹶としての声と音／能管の構造

ワークショップ①

能の発声とリズム／謡と囃子／唱歌

ワークショップ②

能の身体感覚と音／カマエ・ハコビ・舞

◆講師

槻宅 聡 [つきたく・さとし]

能楽森田流笛方。社団法人能楽協会会員。1961年、島根県安来市荒島町生まれ。島根県立松江南高等学校卒業。1993年、国立能楽堂第2期研修修了。故・寺井啓之(重要無形文化財総合指定)、中谷明(重要無形文化財総合指定)に師事。1996年1月、「翁」を初演。2003年12月、「道成寺」を初演。

[ホームページ] <http://hw001.gate01.com/tkkt/>

安田 登 [やすだ・のぼる]

能楽下掛 宝生流ワキ方。社団法人能楽協会会員。米国 Rolf Institute 公認ロルフアー。1956年生まれ。東京を中心に舞台を勤めるが、朗読、群読の出演、演出、指導も行う。また、人間性心理学会や大学などで能と心理療法のワークショップや、国内外の学校(小学校から大学院)でも学生・生徒対象のワークショップも行い、そのためのNPO法人「天籟」を創設。著書は『学習漢和辞典』(ベネッセ。熟語の部分)他、多数。雑誌の連載も持つ。

[ホームページ] <http://www.noboru.com/>

◆準備するもの

白足袋をご用意ください。

ない場合は、白い靴下で代用することもできます。



2005年
松江能を知る集い



2005年1月16日(日)

13:30-17:00

松江市生涯学習センター

交流ホール[STICビル5階]

松江白濁本町43 [電話]0852-32-0800

隣^②の市営白濁駐車場をご利用下さい
(会場にて無料駐車券を配付します)。

JR松江駅徒歩10分

バス停「天神町」徒歩1分／「寺町」徒歩5分

参加費1,000円

定員130名

◆参加申し込み方法

fax、電子メール、はがきで下記までお申し込みください。それぞれ、

①タイトル:「能を知る集い」参加希望

②氏名

③郵便番号・住所

④電話・fax番号、メールアドレス等確実な連絡先

を記載してください。

申し込み多数の場合、抽選といたします。

参加費は当日受付にてお支払いください。

お申し込み先: 松江市観光文化課

〒690-8540松江市末次町86

[電話]0852-55-5293

[fax]0852-55-5564

[電子メール] kankou@city.matsue.shimane.jp

応募締め切り:2005年1月12日(必着)

◆主催

「松江・能を知る集い」実行委員会

[電話]090-7122-2940(事務局)

◆共催

松江市